

社会福祉法人栃木県共同募金会鹿沼市支会

会長 宇賀神 伴吉 様

記入例



団体名 子育てサロン「あかいはね」
 代表者名 赤羽根 さつき
 住所 鹿沼市〇町12-34
 連絡先 010-2345-6789

赤い羽根公募助成事業 報告書

事業対象時期（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

決定の通りに助成金を使用したことを、以下のとおり報告します。

1. 申請した事業の実施内容

(1) 申請をした事業名（助成金を使って実施した事業や活動の名称）
親子で防災体験事業～災害時の食を考える～
(2) 実施した時期（いつ行ったか、開催期間や開催日について）
①令和8年8月7日（金）10：00～13：30 ②令和8年9月18日（金）10：00～13：30
(3) 実施した回数・数量（事業の開催回数、啓発物などは作成した部数）
事業開催：2回 事業の案内チラシ：100部
(4) 実施した場所（どこの、どんな場所で）
鹿沼公民館 調理室
(5) 対象となった人・範囲（どういう人が何人）
①小学生の親子 14組33名（保護者14名、子ども19名） ②未就学児の親子 15組29名（保護者15名、子ども14名） 合計62名
(6) 事業の具体的な実施内容（どんな事業や活動を行ったのか）
<p>栄養士で防災士の資格も持つ赤井 羽根子さんを講師とし、能登半島地震を例として災害や避難所の様子について写真を見せていただきながらお話をいただき、小さい子を持つ親だからこその課題や心配な点等について親子で話し合った後にグループで共有することもできた。</p> <p>その後、パッククッキングを体験・試食した。食生活改善委員の手助けも受けながら参加対象年齢に合わせたメニューを体験（1回目：ツナ缶カレー・ご飯・牛乳寒天、2回目：ケチャップライス（ツナ缶・コーン）・みかんゼリー）し、より身近な自分事として活用や備えを考える事につながった。また、災害時に役立つ新聞紙工作も体験し、「防災」を親子で楽しく学ぶことができた。</p>

2. 実施した事業による成果

<p>写真データ送信先 kashakyou@kanuma-shakyo.or.jp</p> <p>(1) 申請した事業を行ったことによって得られた成果</p> <p>① 事業を行ったことによる具体的な効果</p> <p>（対象者や地域にどのような良い変化を生み出すことが出来たのか）</p>	1 / 1 ページ
---	-----------